

第11回

「住まい・まち学習」教育実践研修会

ウェルビーイングな暮らしと

住教育の授業づくり

2024年3月20日（水祝）13：10～17：00（オンラインは15：00まで）

会場：ビジョンセンター東京駅前707

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-8-17 新槇町ビル7F

オンライン：Zoom

参加費：無料

定員：会場30名／オンライン100名

締切：定員になり次第締め切り

主催：一般財団法人 住総研

「住まい・まち学習」普及委員会

後援：国土交通省

SDGsに貢献できる
学びを探る小・中・高等学校の教員の方
だけでなく、住まい・まち学
習にご関心のある方なら、ど
なたでもご参加頂けます。

1. 講演

小澤紀美子（東京学芸大学名誉教授）

・SDGsを視野に入れた

住まい・まち学習の考え方と実践

炭竈 智（教育図書株式会社）

・映像を通してSDGsを考える

2. 授業づくりのヒント

川島 範久（明治大学准教授）

・小・中・高校の住まい（住居）において、

知っておきたいSDGsの授業づくりのヒント

志村 優子（まちづくりプランナー）

・住教育関連情報について

3. パネルディスカッション

仙波 圭子（元女子栄養大学教授）

勝田 映子（帝京大学教授）

楚良 浄（小学校図工専科教諭）

植田真理子（帝京平成大学講師）

4. ワークショップ（※会場参加者のみ）

希望のグループに分かれて、ワークショップを
行います。（詳細は裏面）ワークショップへの参加はご来場の方のみとさ
せて頂きます。■申込方法（ホームページの公開は12月1日より）
ホームページの申込みフォームよりお申込みください。住総研HP <http://www.jusoken.or.jp/diffuse/study.html>ワークショップでは裏面掲載のグループワーク2つの中
から1つを選んでご参加頂けます。

人数が偏った場合は抽選になります。

抽選の結果は研修会会場にてお知らせ致します。

■主催

住総研「住まい・まち学習」普及委員会

委員長 小澤紀美子（東京学芸大学名誉教授）

委員 勝田 映子（帝京大学教授）

志村 優子（まちづくりプランナー）

炭竈 智（教育図書株式会社）

仙波 圭子（元女子栄養大学教授）

楚良 浄（小学校図工専科教諭）

山上 功治（国土交通省住生活サービス産業振興官）

お問合せ：一般財団法人 住総研

東京都中央区日本橋3-12-2 朝日ビルディング2階

TEL03-3275-3078

第11回「住まい・まち学習」教育実践研修会 ワークショップ グループワーク内容

会場にご来場された参加者の方に限り、
以下の2つのグループワークの中から、1つを選んでご参加頂けます。
(※Zoom参加者はパネルディスカッションまでのご参加になります)
人数が偏った場合は抽選になります。

①被災時の協働生活～緊急時をシミュレーションしながら考えてみよう！～

現在、気候変動による異常気象は記録的な豪雨や猛暑など各地でさまざまな自然災害を引き起こしています。さらに地震大国でもある日本では、災害が重なって起きることも想定して生活基盤をつくっていく必要があります。そこで緊急時、各家庭や地域で「どのように情報を共有」して、「どのように避難」したらよいか、さらに「避難先での過ごし方の工夫や配慮」などを参加者の皆さんで考えてみましょう。

②わたしから地球へとつなぐ居心地のよい暮らし

わたしにとっての「居心地のよい暮らし」について語り合いながら物、人、空間など「居心地のよさ」を支える様々な要素を浮かび上がらせませす。SDGsと住まいを関連づけてそれらをどう「つなぐ」のか。わたしの理想や今できることを考え、地域やまちへ、そして地球へとつないでいく持続可能な「居心地のよい暮らし」を創案していきます。

■申込方法

ホームページの申込みフォームよりお申込みください。(ホームページの公開は12月1日より)

住総研HP <http://www.jusoken.or.jp/diffuse/study.html>

会場にお越しの参加者の方は、
お申し込みの際に上記グループワークの中から第1希望、第2希望を選んでください。
抽選の結果は研修会会場にてお知らせ致します。
※Zoom参加者の方は開催日の数日前に参加URLをメール致します。

■申込締切 ※定員になり次第締め切ります
3月13日(水)まで

告知

第16回住教育授業づくり助成募集

住教育授業に取り組む小学校・中学校・高等学校または団体に対し
費用助成を行います。

- ◆助成額： 各校/団体一律 10万円
- ◆応募資格：
 - ①国内の小・中・高等学校(高専を含む)。国立・公立・私立は問いません。
 - ②教員養成課程を有する大学。
 - ③または、上記の学校に対して助成対象授業を行う団体。
- ◆応募校数： ①②③を合わせ、全国で5～6件を予定。
- ◆授業実施例： これまでの事例は、当財団ホームページの授業実施報告書をご覧ください。
- ◆授業実施期間： 2024年9月～2025年2月末日
- ◆応募期間： 2024年4月～2024年6月23日 必着

詳細は住総研のホームページでご確認ください。
(<http://www.jusoken.or.jp/diffuse/education2.html>)